

# 深まる☆ICTの利活用 ~R4管内各校の実践から~

令和4年度は、各学校の実態に応じたICTの活用「教科等の特質に応じた効果的なICT活用による授業改善」に取り組んでいただきました。令和5年度は、「主体的・対話的で深い学び」へとつながるICTの効果的な活用が期待されます。

## 令和4年度ICT活用推進モデル校が取組を公開しました!

令和4年度は、【高千穂町立高千穂小学校】と【日向市立日向中学校】に、授業におけるICTの効果的な活用について研究を進めていただきました。両校ともICT活用のメリットを生かし、特色ある研究成果を披露しました。

令和4年度のICT活用推進モデル校の研究については、右記の二次元コードまたは、URLから詳しく見ることができます。

<https://sites.google.com/g.miyazaki-c.ed.jp/ictmodel>



### 【高千穂小】

高千穂小のICT活用の進歩はまだまだこれから!と今年度を振り返る推進教員の黒木先生 ▶



### 【日向中】

ICT活用で職員全体の組織力が高まった!と今年度を振り返る推進教員の宮野先生 ▶



#### ①「一人一台端末でのワークショップ形式の分科会」

全体会の会場を設けず、参加者は初めから分科会会場からの授業公開のスタート。協議では高千穂小学校の端末をお借りして、実際のソフトや先生方自作の教材等を体験。明日活かせる技術を身に付けました。

#### ②「児童とともに作ったCMで成果を発信」

ICTの活用でスキルが高まるのは、先生方だけではありません。この一年間のICT活用の成果を振り返ることのできる動画を先生方と児童で作成し、授業公開の際に参加者に披露しました。これまでの学びを振り返ることで、メタ認知が深まり今後の学習活動につながります。

#### ③「学びの蓄積をいつでも確認できるクラウド活用」

一部の授業は、これまでの授業を撮影した動画資料をもとに授業を参観し、協議を行いました。クラウドを活用することで、用いた教材や児童の学びの記録を共有することができます。児童にも教師にも学びの蓄積になります。

#### ①「各会場をつないだ全体会」

今年度の授業公開から、公開に関する資料や指導案等は特設のHPから参加者がダウンロードして参加するシステムとなりました。日向中の参観者は、授業公開後、授業研究会会場に移動し、日向中におけるICT活用の報告(全体会)をオンラインで視聴。その後そのままの会場で授業研究会を実施することができました。ICTの積極的な活用により、授業公開の運営がよりスムーズなものとなりました。

#### ②「各教科、学習活動に応じた個別最適なICT活用」

一年間を通して、ICTの効果的な活用について全職員で検討しました。協議会では、先生方が率先して協議を盛り上げ、質の高い協議が繰り返されました。

#### ③「小学校との連携につながる生徒会の活躍」

情報モラルについて、生徒会が中心となって「日向メディア法」というきまりをつくりました。今後は、日向中学校区の小学校にも共有し活用していくそうです。生徒たちの自律的な情報モラルも育ってきています。



▲【授業のようす】  
どの学年の児童もICTを学習の手段として活用しています



▲【協議のようす】  
実際に端末を操作しながら、教材作成や授業づくりについて学びました



▲【授業公開のようす】  
共同編集機能でグループ内での合意形成を図ります



▲【協議のようす】  
先生方の使用方法についても紹介し合い充実しました

☆令和5年度のICT活用推進モデル校は、【門川町立草川小学校】と【椎葉村立椎葉小学校】です

# 管内の小・中・義務教育学校からの学び



ICTを効果的に活用することで、児童生徒の主体的な学びを促すだけでなく、先生方の授業づくりの課題解決にも役立てられると一層ICT活用の良さを実感できますね。今回は、協働的な学習や複式指導の工夫について御紹介します。

## 遠隔授業で深い学びを実現 延岡市立島野浦学園・三川内中学校「第1学年国語」

ICTを活用することで、小規模校でも多様な意見を交流することが可能になります。他の学校とつながることで、面識のない相手に自分の意見を発信する他、多様な価値観にふれることができ自分の意見を再構築することにつながります。

2校をオンラインでつなぐことで、2つのGoogleクラスルームを共有でき、2グループの話合いをそれぞれのクラスルームのGoogleMeet内で行うことができます。

さらに、Jamboardや字幕機能を活用することで、音声だけに頼らない話合いが可能になります。

教材研究の上で、進度の調整、話し合う内容のすり合わせ等は必要になりますが、生徒たちへの話合いの目的が明確になります。話合い本番は、活発な協議が繰り返し広がられました。

先生ご自身はもともと、ICTにそれほど詳しくなかったというわけではなく、生徒とともにスキルを高めたとのこと！



## 遠隔授業で協働的な学びを実現 椎葉村立小学校「第5学年国語」

椎葉村内の小学校では、少人数のため、せっかく自分の考えをもって他者との意見交換が限定的になってしまうことがありました。そこで、同じ学年の授業をオンラインでつなぐことで（ユニット学習）、より多くの児童との意見交換を可能にしています。行事等と一緒に交流していた児童同士がオンラインで再会することで、コミュニケーションも深まりました。これからの協働的な学習活動にもつながります。

椎葉小学校は、令和5年度のICT活用推進モデル校として指定されています。今後も児童の皆さん、先生方の取組を御紹介していきます。

◀お互いの意見を交換し、感想等を共有しています



今回御紹介した事例だけでなく、研修センターHPの「チャレンジICT」では、県内各地の先生方の授業の動画を見ることができます。令和5年度の授業づくりに是非御活用ください。

【パスワード:challenge】



県教育研修センターのWebページ



StuDX StyleのWebページ